

## 《第148回那覇市小学生バレーボール大会運営規定》

### 【競技上の確認事項】

#### <大会日程>

##### ① 5月9日（土）

8：00 各チーム集合

※各会場違法駐車はしないようお願い致します。

8：10 チーム受付（チーム確認）

※スタッフ・選手変更届は各会場競技委員へ提出願います。

8：15 監督ミーティング

8：30 開会式

（第一試合）開会式終了、会場移動後15分後を目安に第一試合開始下さい。

以降は追い込み方式

**※集合時間には遅れないようお願い致します。**

##### ② 5月10日（日） ※会場により変動あり

13：00 各チーム集合

※各会場違法駐車はしないようお願い致します。

13：10 チーム受付（チーム確認）

※スタッフ・選手変更届は各会場競技委員へ提出願います。

13：15 監督ミーティング

13：45 開会式

##### ③ 5月16日（土）

8：30 各チーム集合

※違法駐車はしないようお願い致します。

8：40 チーム受付

8：45 監督ミーティング

9：00 第一試合開始

※以降は追い込み方式で試合進行下さい

（決勝戦終了後） 閉会式開始

#### <競技規則>

令和8年度（公財）日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。

但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。また、本大会特別規則を採用する

#### <競技方法>

① 女子・男子・混合ブロックを開催する

② 女子・混合：トーナメント戦、男子：総当たり戦を行う事とする

③ 試合はすべて3セットマッチとする。

各ブロック3セットマッチ21点のラリーポイント制を採用し、2セット先取とする。

3セット目は15点制とし、デュースの際は、全セット2点差がつくまで行う事とする

④ 本大会においてもセーフティタイムアウト（S T O）を適用する。

**第1、2セットでは、リードするチームが11点に達したとき、**

**第3セットはリードするチームが8点目に達したときに適用する。**

デュースが続く場合、第1、2セットは両チームが、25点に達したときに適用し、

その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。

第3セットは両チームが21点に達したとき、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。

※S T Oは水分補給のみならず、健康管理も行うようお願い致します。

⑤ 試合は追い込み方式で行い、連続試合の場合は、最大15分の休憩をとる

※15分のインターバル取り扱いは、各チーム監督責任の下、休憩又は練習の判断をする。

⑥ 試合が終了したチームは速やかにコートを開ける事

次の試合のチームは迅速に当該コートに集合し、以下の事を行う

・ラインナップシート、得点掲示用チームプレートを審判員に提出

・準決勝戦まで3分間打ち合い（簡易 I F）

・決勝戦においてはプロトコールを適用する（公式 I F 記録用紙）

※男子：最終試合がプロトコール適用

※連続試合ではない場合は、前の試合終了7分後に3分間打ち合いを開始する。

#### <参加規程>

-チーム編成-

① 全ての大会（ブロック大会・地区大会）においてチームは、監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、選手14名以内とする。但し、監督は必ず成人である事とする

② 都道府県大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは同一団体に限り変更できる。

選手については、同一チーム内で参加資格を満たしているものであれば、

ブロック大会・地区大会時と違う選手に交代してもよい。ただし、同一チームであっても、

他の部門に参加している場合には、大会期間中（予選から本大会）は他のチームの構成員として参加することはできない。

同じ部門に2チーム参加している場合には、敗戦したチームのメンバーも含めて

1チームに編成し直して申し込みすることができる。

※全国大会においても同一チーム内で参加資格を有しているものであれば、都道府県大会時と違う選手に交代してもよい。

③ ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、かつ、宣誓書を提出した者に限る。

(MRSに役員登録している方もチームスタッフとして登録が必要。)

④ 混合の部では、コート内に男子及び女子が常に1人以上いること。

#### -エントリー変更-

参加申込書に記載された選手の変更(背番号の変更・誤字の訂正)に関しては初日の8時20分までに、チームスタッフは1～2日目それぞれ監督ミーティングまでに、エントリー変更届けにその旨記入し、各会場の競技委員長に提出し、承認を得ること。それ以降の変更は認められない。

#### -服装-

① 単独チームの選手のユニフォームは同一の物を着用し、背番号は1～99番とするが競技運営上1～14番が望ましい  
男女混合チームは背番号が同じにならないように、かつ、分かりやすいように各チームのユニフォームを着用して下さい  
但し、違うユニフォームを用意できない場合は、同一ユニフォームで構わないが、男子・女子いずれかが、ソックスの色やハチマキなどでひと目で判別できるようにすること。

ユニフォームの背番号等の色は、ルールに則って地の色と対象的な色を使用し、誰もが見え易いものにする

※ゼッケン・ビブスの着用も可とする

※ハチマキの着用は、チームで揃えなくてもよい(ヘアバンドと同じ扱いとなります)

**※アンダーシャツについてはユニフォームと同系色であれば個人で着用可とする。**

② ユニフォームの背番号の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し、誰もが見え易いものにする

③ 監督、コーチ、マネージャーの服装は短パン、タンクトップは不可とし統一された物を着用する事とする、

※シューズを履くこと

ただし、小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パンを認める。(シャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。)

※スタッフの服装の統一とは、**襟の有無は問わない(Tシャツでも可)**。長ズボンは同系色に揃えることをさす。

※ベンチスタッフのシャツのイン・アウトはどちらでも良い。(但し、だらしないのはNG)

選手についてはインすること(安全面・盗撮防止の為)

③ 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず左胸部に着用すること

#### -大会使用球-

① 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボールを使用する

「ミカサボール(MVA500)・モルテンボール(V4M5000-L)」(円周62～64cm重量200～220g)

※ ボールの内圧については、6人制競技規則に準じ、294.3～318.8hPa内、315.0hPaとする。

② 本大会は男子・混合ブロック：ミカサ/女子ブロック：モルテン

#### -順位の決定方法-

① 勝率(勝数の多いチーム)

② セット率(全試合の取得したセット総数/全試合の喪失したセット総数)

③ ポイント率(全試合の総得点/全試合の総失点)

④ ②-③が同率の場合は、15点1セットの直接対決を行う。

#### -各試合会場におけるコートでの練習について-

① 各会場ともコートの準備ができ、競技委員からのアナウンスがあるまでフロアに入ることはできない

② 前規定の時間以後は、次のチームのみコート内での練習ができる

但し、隣のコートで試合中の場合はサブ・スパイク・ソック等は禁止とし、パスまでの練習とする

③ 準決勝戦まで3分間、決勝戦：プロトコールとする。

④ フロア以外でのボールを使った練習は、建物内外にかかわらず絶対禁止とする

また、屋外でのアップの際は外履き用の靴に履き替えること

#### -審判員-

① 大会1～3日目共に主審・副審はチームスタッフから出す事とする

② ラインズマン・点示係・記録係は各チームから出すこと

※ 状況に応じて、審判委員長の指示のもと日本バレーボール協会公認審判員が配置される。

#### -その他-

① 試合前の挨拶については、ネットをはさんで対戦相手と握手をする。

※感染症状況により変更あり

※監督は、試合終了後に審判と握手をしてください。

② ベンチには、競技上必要な飲料水・救急用具以外の物品を持ち込まない。また、飲料水は床にこぼさないよう注意する事

水筒は、ワンタッチ式の蓋つき水筒、ペットボトルでも可とする。但し、会場によって不可の場合あり。

※クーラーボックス・キャンプカートは使用禁止。

※スマートウォッチは、時計として使用は可(通信機器やカメラとしての使用は禁止)

③ 応援団の応援旗及び横断幕は試合のあるチームのみが掲示し、その際にプレーに支障のないように配慮する

試合終了時には迅速に撤去し、次のチームに場所を譲る事

応援団の応援用具は大きな音の出る鳴り物(太鼓・ベル・ペットボトル等)は禁止とする

④ ※審判のホイッスルの邪魔にならないように配慮する事

⑤ 審判やラインジャッジへの批判・暴言・威嚇等の行為は厳に慎む事

⑥ 選手への体罰・暴言・威嚇等の行為は、絶対禁止とする

※上記事項を各チームの指導者は十分考慮すると同時に、各チームの応援団(父母会)への指導を徹底する事

⑦ 各チームは、ネームプレートを持参する事

但し、2日目に出場するチームは得点掲示用のネームプレートを2枚用意する事

⑧ 各チームは、ボール拭き用のタオルを持参する事